

令和2年度の主要事業紹介

令和2年度の主な事業について、総合計画のまちづくりの3つのテーマに沿って紹介します。

1 未来へつなぐ人と暮らしづくり

① 結婚・出産・子育てを支えるまち

**拡充** 一時預かり保育の実施日・定員を拡大 **【242万円】**

保護者が通院やリフレッシュしたい時などに利用できる「一時預かり保育」の実施日を週2日から週3日に拡大するとともに、定員も6名から8名に増やします。



実施場所：児童センター  
実施日：火曜：午後1時～4時  
木・金曜：午前9時～正午

**拡充** 認定こども園などの副食費補助を拡充 **【6,228万円】**

国の幼児教育・保育の無償化の対象となっていない給食の副食費について、市独自に実施している補助額を増やすことで子育てにかかる負担を軽減します。



② 豊かな学びで未来を拓くまち

**新規** GIGAスクール構想の実現 **【3月補正】**  
～1人1台タブレット～ **【1億8,340万円】**

小・中・特別支援学校の全児童・生徒に一人一台のタブレット端末がいきなり活用できるよう、計画的に整備を進めます。

今年度は高速大容量の校内ネットワーク環境を整備します。



**新規** 学校再編に向けた準備 **【2,178万円】**

令和3年4月の統合に向けて準備を円滑に進めるとともに、小中一貫教育の導入に向けた研究・研修を行います。



③ 安心して暮らせるまち

**新規** マイナンバーカード取得と利活用の促進 **【727万円】**

マイナンバーカードの取得と利活用を促進するため、市独自の自治体ポイント制度の検討を進めます。また、マイナンバーカードの普及に伴う利用者の増加に対応するため、証明書の自動交付機を増設します。



**新規** 医療的ケア児の支援体制の強化 **【50万円】**

専門の医療機関と連携した研修会や実習の実施により、医療的ケア児※②の受入施設の看護と支援の質の向上を図ります。



※②人工呼吸器管理や吸引、経管栄養等の医療的ケアを必要とする重症心身障害児

令和2年度  
当初予算の概要

～新たな時代、三木創生ネクストステージへ向けた予算～

令和2年度は、新たに策定した三木市総合計画に基づき、「三木創生ネクストステージ」に向けた予算を編成しました。

問(市)財政課

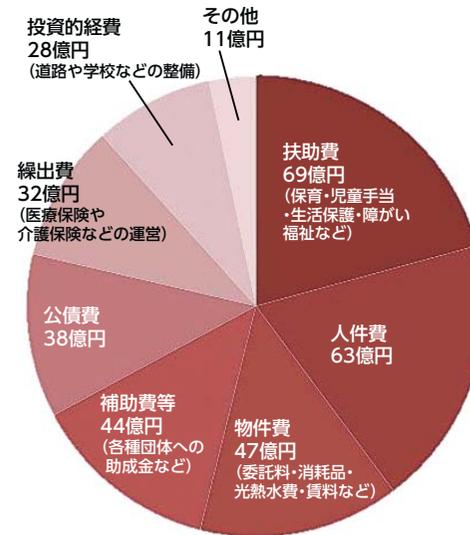
令和2年度予算の規模

区分	令和2年度 当初予算 (A)	令和元年度 当初予算 (B)	対前年比		
			増減額(C) (A-B)	増減率 (C/B)	
一般会計	332億3,000万円	327億2,000万円	5億1,000万円	1.6%	
特別会計	国民健康保険	94億2,200万円	93億9,200万円	3,000万円	0.3%
	介護保険	69億9,600万円	69億8,500万円	1,100万円	0.2%
	農業共済事業※①		1億800万円	△1億800万円	皆減
	後期高齢者医療事業	14億3,400万円	13億8,600万円	4,800万円	3.5%
	学校給食事業	2億8,200万円	2億9,000万円	△800万円	△2.8%

※①兵庫県農業共済組合への農業共済事業の一組化に伴い、農業共済事業特別会計を廃止。

予算の内訳(一般会計)

一般会計の歳出(332億円)



一般会計の歳入(332億円)

